(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和4年10月20日　　企業･団体名：株式会社西日本科学技術研究所

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・差別をしない体制を整備し、適宜社員に周知している。 ・適宜研修を実施している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記するとともに、「セクシャルハラスメントの防止に関する規則」を別途定めている。 ・社内にポスターを掲示し、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・『高知県ワークライフバランス推進企業認証制度』の認証を取得している。 ・時間有給休暇制度、ノー残業デーを導入している。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・差別、人権侵害をしない体制を整備し、適宜社員に周知している。 ・適宜研修を実施している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・毎年、社員向けに労働安全衛生講習会を実施している。 ・安全衛生委員会を設置し、労働環境や職場環境の改善に取り組んでいる。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・「ストレスチェック制度実施規定」を定め、ストレスチェックを実施している。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・女性管理職の登用、障がい者の雇用、継続再雇用制度満了後の延長雇用などを行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・公的資格等の取得、更新手続に伴う費用の補助制度を定めている。 ・外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、雇用形態に関わらず公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・『健康経営優良法人(経済産業省)』の認定を受けている。 ・「人間ドック等各種検査受診規定」を定め、受診費用の助成を行っている。 ・『高知県ワークライフバランス推進企業認証制度』における健康経営部門の認証を取得している。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・発注者等との打ち合わせにウェブ会議を導入、推奨している。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・クラウド型のグループウェア･勤怠管理システムなどデジタル化･オンライン化を導入、推進している。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・毎月、部署毎に分別･計量し、リサイクル業者に依頼するなど適切に処理している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・電気の使用量を記録し、昼休み時の消灯やエアコンの温度設定など節電に努めている。 ・ガソリンの使用量を記録し、エコドライブの実践に努めている。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・エコカー(HV車)の購入やアイドリングストップなどにより、排出の抑制に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・ISO9001の活用により、定期的(半年または四半期毎)に使用量をチェックし適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・経営方針(環境保全をベースとした地域づくり)に基づき、生物多様性や生育・生息環境の保全に向けた提案･業務を行っている。 ・現場で使用する薬品が流出しないよう取り扱うともに、流出した場合の対策を講じている。						6.6									15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・裏紙の使用、再生紙の利用を促進している。 ・ごみを分別し、リサイクル業者に依頼しリサイクルに取り組んでいる。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・社用車の入替の際、エコカー(HV車)を導入するよう取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・水道の使用量を記録し、節水を呼び掛けている。 ・『河川協力団体(四国地方整備局)』の指定や『ラブリバー仁淀川パートナーシップ』の参加などを通じて、河川の清掃活動他を行っている。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・HP等で自社の環境に関する取り組みについて、随時発信している。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・エアコンなど入替の際、省エネ機器を導入するよう取り組んでいる。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職･贈収賄禁止等教育を行い、社員に周知を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・公正な取引に努めるよう教育を行い、社員に周知を図っている。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・「事業秘密遵守規定」を整備している。 ・報告書作成等にあたっては、引用した文献･資料を明確にするよう指導、徹底している。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・「個人情報保護管理規定」「特定個人情報取扱規定」を整備している。 ・その他県条例等に準じた保護･管理に努めている。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・該当する金属を取り扱っていないことを確認している。																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント･汚職･贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先との対話を通じ、環境保護等認識を共有しながら業務に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・ISO9001を取得している。 ・ISO9001に基づき、社内規定･仕組みを構築している。 ・計量証明事業においてISO9001を活用し、トレーサビリティの確保、第3者による分析値の検証等を実施している。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・ISO9001を取得している。 ・ISO9001に基づき、社内規定･仕組みを構築している。 ・計量証明事業においてISO9001を活用し、トレーサビリティの確保、第3者による分析値の検証等を実施している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・グリーン製品の購入を推奨、実施している。 ・再生紙の利用を推進している。						6						12	13	14	15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・事務室内の書棚や戸棚などの家具類は木質材を使用している。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・鳥獣対策等、社会課題の解決に向けた業務に取り組んでいる。 ・《近自然工法》の技術開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・業務において、地域住民・漁協等事業地域と良好な関係を築くよう努めている。 ・環境アセスメント業務等において、積極的な地域環境への配慮事項を検討している。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・毎月、会社周辺の町内清掃活動を行っている。 ・河川一斉清掃や88クリーンウォークなど地域の清掃活動に参加している。 ・環境学習の積極的な実施に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・贈答品の選定に当たっては高知県産に限定して購入している。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・社内の掲示板等で法令遵守の重要性を社員に周知・徹底している。 ・適宜研修を実施している。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・社員総会などを通じ、経営理念や経営目標の共有を図っている。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・「コンプライアンス規定」や「事業秘密遵守規定」を整備し、体制を明確にしたうえで　企業風土の醸成を図っている。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・「顧客満足度調査」を通じて、業務遂行における課題や苦情等を把握し業務改善に役立てている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・「コンプライアンス規定」を整備している。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・現地調査を伴う業務において、業務開始時にリスクマネジメントに基づくリスクアセスメントを行い、調査における安全衛生管理計画を立案している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・毎年、災害訓練を行っている。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・技術継承のための研修及び教育を行っている。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・避難計画の策定、定期的な避難訓練を実施している。 ・社内に食料や水、防災用品の備蓄を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・救急救命講習を外部より講師を招き、実施している。 ・普通Ⅰ級救命講習を受講している(一部社員)。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・小中学生を対象とした環境学習を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・インターンシップや職場体験の受け入れを行っている。				4.4				8.5 8.6									17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・業務や広報交流等を通じて、中山間地域の自然環境保全・改善に係る調査や提案等を実施している。								8	9		11						